

千日回峰行 を生きる



比叡山延暦寺一山 大乘院住職

光永 圓道



比叡山の三大地獄

■ 掃除地獄 西塔 浄土院
十二年籠山業 侍真

■ **看經地獄** **横川 大師堂**
谷の鈴虫

■ 回峰地獄 東塔 無動寺谷
峰の白鷺



回峰行の起源

創始者 相応和尚（831～919年）

- 近江・浅井郡の豪族出身
- 慈覚大師円仁の弟子
- 毎日、根本中堂に供華をされたのが始まり。

現在の回峰行

- 百日回峰行

- 千日回峰行

百日を単位として、7年間かけて満行

千日回峰行者は戦後、13名

回峰行の行程

比叡山内三塔
山下日吉大社
を巡拝

七里半

歩く



日吉大社



玉体杉



回峰行の本意

「但行礼拝(たんぎょうらいはい)」

■「歩く」という修行形態をとるが、「歩く」こと

が目的ではない → 歩行禪

■ 身口意の三業を整える

身:身嗜みを
整える

口:真言を
唱える

意:心に仏を
念じる

行者の姿は死装束

- 浄衣(じょうえ)
- 手甲・脚絆
- 四手紐・手巾
- 八葉の草鞋
- 未敷蓮華の御笠
(みふれんげ)

→ 六文銭

行の中断＝
「死」



千日回峰行の歩み

自利行を積み重ねる

- 回峰第初百日 1999年3月29日～7月6日
- 回峰第第二百日 2003年3月27日～7月4日
- 回峰第第三百日 2004年3月28日～7月5日

蓮華笠を頭に頂戴し足袋を履くことが許される

- 回峰第四百日 2005年3月28日～7月5日

■ 回峰第五百日

2006年3月28日～

7月5日

白帯行者

御加持が許される
第五百日満行の後に
杖を持つことが
許される





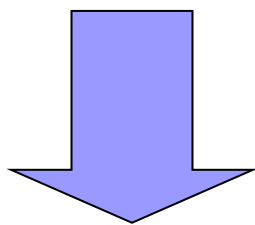
- 回峰第六百日 2007年3月28日～7月5日
- 回峰第七百日 2007年7月6日～10月13日

堂入り(明王堂参籠)
生き葬式(斉食儀)



堂入り（明王堂参籠）

- 九日間（10月13日～10月21日）
- 断食・断水・不眠・不臥
- 毎夜午前2時、不動明王にお供えする水（關伽水）を汲むための「取水の儀」のために出堂



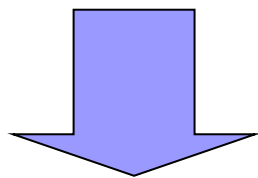
お釈迦様の苦行を追体験



■回峰第八百日 2008年3月28日～7月5日

化他行に
入る

赤山苦行



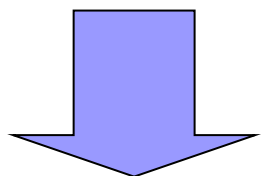
十五里



2009年3月28日～

7月5日

京都大廻り



二十一里





■ 回峰第一千日

2009年7月6日～9月18日

- 古来、975日をもって千日と成す
- 残り25日は、生涯の修行



「行不退」